

株式会社ObotAI、新型コロナウイルス感染症対応の多言語AIチャットボット「COVID-19 Q&A」を無償提供

5月12日から助成金・給付金・融資関連の情報を無償提供開始

株式会社ObotAIは、令和2年4月から官公庁・自治体・病院などの医療機関および企業を対象に、新型コロナウイルス感染症対応の多言語AIチャットボット「COVID-19 Q&A」の無償提供をしています。

「COVID-19 Q&A」は、厚生労働省が発表する「新型コロナウイルスに関するQ&A」に準拠したAIチャットボットで、日本語を含む6言語（日本語、英語、韓国語、中国語〈簡体・繁体〉、タイ語）に対応しています。

WEBチャットをはじめ、主要SNSやビジネスチャットとの連携も可能で、国内の感染者数情報をリアルタイムで反映し、都道府県名や市区町村名を入力すると、最新の都道府県別および市区町村別の感染者数を確認できます。

株式会社ObotAIの担当者によると、4月1日の提供開始以降、導入実績は自治体を中心に10件を超えており、利用者数は1か月間で1万人を突破し、寄せられた質問は3万件を超えました。

こうした状況の中、5月12日からスタートしたのが「COVID-19 Q&A」による都道府県別の助成金・給付金・融資等の情報提供です。担当者は「利用者の皆様からいただいているお問い合わせの中でも、4月半ば以降特に増えているのが、助成金や給付金に関する質問です。助成金・給付金・融資等は、自治体が独自に提供するもの、国の各省庁が提供するものなど、窓口が多岐にわたっており、複雑に分岐している関連情報等を、わかりやすい選択方式で確認できるようにしました。」とその目的を話しています。

現在、東京都、千葉県、茨城県、静岡県、沖縄県に対応し、導入した自治体からは「助成金・補助金関連のQ&Aが便利で問い合わせの削減に役立っている。」との声が聞かれると言います。

今後について担当者は、「順次その他の都道府県への対応や多言語化も進めます。今後は、これまでの質問履歴の分析を行い、利用者の不安点やニーズの洗い出しを行い、導入先様の情報発信施策に役立てるデータの提供を目指します。」としています。

また、株式会社ObotAIは、「COVID-19 Q&A」に寄せられる膨大な質問履歴から、健康不安を解消するツールの必要性が高いとして、ヘルスケアに特化したサービスを考案しました。一般健康診断、人間ドック、メンタルヘルス関連の質問に自動回答する多言語AIチャットボットによるサービスを「COVID-19 Q&A」とも連携する予定で、5月下旬のサービス開始を目指して現在開発中です。



【WEBチャットご利用イメージ】



【Slackご利用イメージ】



「COVID-19 Q&A」は、以下のアドレスから試すことができます。

URL : <https://covid19.obot-ai.com/chatbot/>

(令和2年5月作成)

問い合わせ先

株式会社ObotAI 電話 : 03-3221-5085 メール : info@obot-ai.com

HP : <https://obot-ai.com/>